

意見交換記録

日時	8月10日(木) 19時~20時45分
会場	斧池区公民館(稲津町)
○議会改革の今後について傍聴規定での記名廃止は、防犯上問題が起きる可能性があると思うが、どのように対応されるのか。 ⇒現在検討中の項目であり、参考に検討させていただく。	
○現在の議員定数で大変な仕事量をよくやっただけであることがわかりました。今後の議員定数に対する考え方はどのようか。 ⇒車の普及により市内での行動範囲が広がった事は、一人の議員で広範囲の議員活動が可能になった事は確かである。現在は、一人の議員で4常任委員会のうち3常任委員会に属しているのが現状。議員定数が減少すると委員会の委員数が少なくなり委員会としての機能が果たせるのか。	
○議員のタブレットの活用はどのようになっていくのか。 ⇒関市議会での活用状況を勉強させてもらい、費用をかけないように取り組むことを検討中。瑞浪市議会では、先ずは、現在個人的に所有している機種を利用する方向で進められると思う。	
○人口減少対策の移住定住実績はどのようか。 ⇒平成29年度移住定住関係の奨励金の転入者への交付実績は、移住定住促進奨励金が合計36件の内、県内が30件、県外が6件。三世同居・近居世帯定住奨励金が、合計5件の内、4件が県内、1件が県外。若者世帯民間賃貸住宅入居奨励金が、合計16件の内、県内が11件、県外が5件。商品券での奨励金制度、若者世帯民間賃貸住宅入居奨励金について説明。	
○空き家対策はどのようか。 ⇒瑞浪市空家等対策計画の策定を平成29年度中に予定している。	
○現在、夫婦二人の生活である。この後空き家となる可能性がある。どうしたらよいか。 ⇒空き家バンク制度があり不動産業者とタイアップした対応制度がある。	
○護岸、河の中の木、土砂などの対応はどのように対応すればよいか。 ⇒連絡をいただき対応しようとしたが、個人の所有地との境界がはっきりしないため苦慮している。河川の必要断面内の川の中のもの行政が対応してくれますが、その他民地の法面は行政では無理だと考える。要望事項は、区長を通じて行政に上げていただくのが一番良い方法と考える。	
○区長が忙しく立会ができない。土日でもお願いできないか。 ⇒区長を通じた対応としていただき、区長が出られない時は副区長、班長、組長で立会ができる方を立会いさせていただくことが大切と考える。 地域の土木要望の立会いは、先年度から行なわれないこととなっているが、地域の要望は地域の方々の気持ちを受け止めていただくことが大切であるということから、今年から以前のように当該地区の区長、市議会議員、行政担当者との立会いが行われることとなったので安心して地域要望を出していただくことをお勧めする。区長からの地域要望は、民意であることを行政は受け止	

めてくれると考える。

(本年度は各地域に立ち合い有無の希望を聞いたうえで実施、釜戸地区は立ち合いしていない。)

○消火栓バルブの点検はどのようになっているか。

⇒以前は消防団が年1回点検を行っていたこともありましたが、現在は実施されなくなった。消火栓バルブを開けると消火栓に上水管の水が急激に管内を流れるため、上水道水が濁ることが多々に起こるので最近では消火栓の点検を行わないこととしているよう。先日、寺河戸地区において家屋火災。やはり消火栓の開栓で周辺の水道水が濁った。

⇒市内には、地上式消火栓 855 基、地下式消火栓 250 基、合計 1,105 基の消火栓が設置されており、3年間のローテーションで年間約 360 基を目標に外観点検、標識点検や消防ポンプが異物を吸い込み破損しないよう消火栓を開放し吐出口の点検を実施している。

火災の消火時は、一度に大量の水を消火栓から使用することから、水道水が濁ることがある。消火作業を円滑に行うためご理解とご協力をお願いしたい。

○稲津地区での工業団地開発可能性調査の結果はどのようなか。

⇒地方創生交付金で行われた工業団地開発可能性調査の結果、適地ではあるが中学校統合による事業での出費、学校跡地の再利用、ソニー瑞浪工場の跡地などの対応が急務であることから工業用地の早期開発ができない。

3年ぐらい前に、軽費老人ホーム「白寿荘」跡地周辺の明世町月吉地区で開発可能性調査をされたが費用対効果の面で取りやめとなった。瑞浪市では今から工業用地の開発となるが、恵那市、土岐市、多治見市では、既に工業用地が開発されている。個人的には、このような状況下では瑞浪市での企業誘致は困難であると思う。

○中学校水洗線を早くやってほしいが進捗状況はどのようなか。

⇒現在は関係する地権者の同意をいただくことと、用地買収を推し進めていると聞いている。地権者の代が代わっている状況下で苦戦中。早期に事業が進むよう努力する。

○瑞浪恵那道路の件はどのようなか。

⇒これまでに瑞浪市内の区間においては、現地調査までが行われ、内、一部区間において設計及び設計説明会が行われた。引き続き関係機関に予算確保や事業進捗を要望していく。

○稲津町から学園台を通過する道路で国道 19 号の北側に行く高架橋を渡ってからの道路が狭すぎるがどうにかできないか。

⇒学園台用の道路が市道となっている。偶然に稲津から通行できるようになった道路であり大型車両が通過する道路ではないと思う。

○公園がほしい。

⇒瑞浪市の都市公園において、一人当たり公園面積都市公園は、国平均、県平均を上回っている。今後新たな公園整備計画はないので、現在の 31ヶ所の都市公園等を利用いただきたい。

【意見交換記録】

日時	8月10日(木) 19時～20時45分
会場	上一色公民館(瑞浪地区)
<p>○人口減少対策について</p> <p>現在どのような対策や事業を行っているのか。</p> <p>⇒一般不妊治療や特定不妊治療費を補助することで人口増加につなげている。 (瑞浪市は東濃5市の中で助成が充実)</p> <p>ソニーの撤退なども人口減少の一因かと思われるが瑞浪市の企業誘致の現状はどのようか。</p> <p>⇒ソニー瑞浪は平成17年にブラウン管の製造を停止し、ソニー製品の修繕をおこなう関連会社ソニーイーエムシーエスが引き継いだ。ソニー瑞浪の撤退が原因とは認識していない。また、この間住民基本台帳の異動理由では、転出の最も大きな理由が住宅理由となっており、職業上の理由でない。クリエイション・パークへの企業誘致や、遊休地の活用を主に行ってきたほか、ソニー瑞浪の跡地についても関係者へ積極的に働きかけている。</p> <p>新たな工業団地については、これまで複数の個所についてその可能性を検討したが、分譲価格等の観点から実施につながっていない。</p> <p>人口減少と増収減について、財政改革はどのようか。</p> <p>⇒人口減少や少子高齢化の進行など、市を取り巻く環境が大きく変化する状況を考慮し推計。歳入においては、生産年齢人口の減少により特に市民税の減少が見込まれることから市税全体として減少すると予測。一方で高齢化人口の増加により、後期高齢者医療事業特別会計や介護保健事業特別会計への繰出金の増加が予測される。</p> <p>新たな財源の確保、歳入の維持増加には企業誘致や移住定住の促進といった特別な要因がなければ見込めない。今後も引き続き利用者世代の公平性の観点から公共施設の更新にかかる財源は起債の活用を検討する。平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定し、「公共施設等の最適化」と「持続可能な財政運営」の両立を目指した公共施設等の長期的総合的な管理運営方針を定めた。公共施設等総合管理計画により施設の維持更新費の削減、その他経常経費の削減を図り、見込まれる歳入の範囲内で「費用対効果」を念頭に事業を厳選し、持続可能な財政運営を行わなければならない。</p> <p>耕作放棄地の現状はどのようか。</p> <p>⇒耕作放棄地の現状は、平成25年では30.8ha、平成26年は24.2ha、平成27年は33.0ha、平成28年は28.8ha。主な再生事業者は、日吉機械化営農組合が、平岩、白倉、本郷、柄石で大豆、タラの芽など、(株)山崎商事が釜戸東大島でニンニクを生産。再生箇所の大部分が圃場整備を行った地域での耕作放棄地で山奥の狭い耕作放棄地の再生は困難と考える。</p> <p>○地場産業について</p> <p>陶磁器産業が回復できるような対策はないのか。</p> <p>⇒国内需要は、下げ止まり感があり、円安や原油安、中国人件費の高騰による中国製品の価格優位性が少なくなってきたこと、今後、観光やオリンピック需要のホテル用の需要が見込めることなど明るい面がある。</p>	

行政では、見本市への出展に対する支援など意欲ある企業への支援を継続していきたい。

きなあつ瑞浪、ちやわん屋みずなみの現状はどのようなか。

⇒きなあつ瑞浪…みずなみアグリ株式会社が運営。

ちやわん屋みずなみ…瑞浪市陶磁器卸商業協同組合が運営。

それぞれ独立した法人なので経営状況を開示することはできない。きなあつ瑞浪は平成 24 年度の開設以来順調に伸ばしていた全体の売上額が平成 28 年度は前年比 98.25%。来場者数に関しても前年比 99.7%で同様の傾向。これは競合店の開店や天候不良が続いたことによる出荷者商品の品薄等の影響と考えられる。

ちやわん屋みずなみに関しては、リニューアルオープン以来まだ 3 ヶ月しか経過しておらず、改装前の一時的に販売を行ってきた期間の状況と比較して、売り上げも大幅に増加している。今後もリピーター獲得のため様々なイベントを実施する予定。

駅前商店街の再開発の計画があるがその現状はどのようなか。

⇒平成 28 年 4 月より地権者の方々による勉強会、先進地視察が上本町、西本町自治会単位で開催されている。去る平成 29 年 5 月 29 日に地区代表者により瑞浪駅周辺再開発推進協議会が発足。市としては再開発事業のしくみの説明や資料作成などで支援。平成 28 年 4 月には国土交通省住宅局市街地建築課が実施する、地方都市を対象にした「地域住生活まちづくりモデルに関する調査・検討業務」に瑞浪市がモデル都市の内のひとつに選考された。現在、調査・検討業務を国交省から受注した企画会社が市街地再開発事業等を含めたまちづくり事業に至るまでのまちづくり工程表を取りまとめている。

○クリエイション・パークの現状について

現在の企業の現状はどのようなか。また空き地が在るが現状はどのようなか。

⇒クリエイション・パークの 19 区画において、13 社と売買又は賃貸契約を結び、12 社が操業している。南西の 2 区画を保有する企業が、土地は取得したものの、工場の建設がなされない状態。市では、工場の建設を促しているが、活用しないのであれば、この企業が当該土地を売却することも選択枠となることを認識しており、企業誘致の候補地として関係者に情報提供している。

工業団地で働く人の状況はどのようなか。(市内、市外、人数など)

⇒創業している 12 社の従業員合計は平成 28 年 8 月現在で 515 人。

うち市内に住所を有する者は 263 人。

○絆メールの登録者は瑞浪市民の何割くらいか？議会中継をマルチデバイス化するのは良いが、高齢化に伴い I T の使用や利用方法がよくわからないので、教えてくれる教室等を開催していないか。

⇒地域の公民館等でパソコン教室の講座があるので参加してはどうか。

数は確認してまたお知らせする。

⇒絆メールの登録者は、瑞浪市民限定ではないため市民の何割とは言えないが、平成 29 年 4 月 1 日現在、6,031 件の登録がある。

○人口減の対策で不妊治療のことはわかったが、その前の結婚への機会づくりや離婚率の抑制を図ってはどうか。

⇒離婚についてはそれぞれ事情もあるので言うことはないが、このとりの会と結婚相談所が婚活支援のための「ふれ愛パーティー」を開催しており、毎年カップルが誕生している。また結婚相談所による相談も開かれている。上一色で企画してパーティーを開くこともできる。
⇒婚活事業を行っていただける場合は、市からの交付金上限 10 万円が交付される。

○今後、税収減になっていくと思うが、新たな財源確保の政策はあるか。

⇒本年度よりふるさと納税の見直しにより寄附金のアップを目指している。また瑞浪北中学校建設のような政策へも寄付額は増えている。

※丸森邸の改修は平成 28 年度で完了しており、平成 29 年度の指定事業による寄附は「スーパーエコスクール瑞浪北中学校建設事業」1 事業である。

なお、今後大湫宿保存活用事業として新たに計画されれば、寄附金の募集を行いたいと考えている。

○予算編成を行う際、市が目指している 4 万人で計算しているのか、実数の 3 万 8 千人で計算しているのか。

⇒実数で計算して予算化している。地方交付税のうち普通交付税は面積や人口割などいろいろな基準がある。

地方交付税は普通交付税のほか特別交付税がある【仕組みを説明】

毎年陳情に行っており瑞浪市は少し増えている。

○防災ラジオで各地区の情報が共有できないか。

⇒設定が各地区になっているので、難しいが、必要な情報は共有できるよう担当部局には要望を伝えておく。

現在お住まいの地区情報だけでなく、市内 8 地区の情報を共有することは可能。

希望される方は、市役所生活安全課まで防災ラジオを持参していただければ、データ書き換えを行う。

○市役所の中が縦割りで、部署により温度差がある。対応についても共有がなく、たらいまわしにされることが多い。

⇒担当部署が縦割りであることのメリットは、それぞれの課が仕事に集中することができるので縦割りが悪いことばかりではないが、横のつながりも必要である。

○議会に来てほしいというが、そもそも議会や議場がどこにあるか知らない人が多いので説明してほしい。

⇒玄関から正面にあるエレベーターで 5 階まで来ていただければ、各会派の部屋と議場がある。9 月議会はおりべによる生放送もあるのでぜひ見てほしい。

【意見交換記録】

日時	8月10日（木）19時～20時40分	会場	細久手公民館（日吉地区）
<p>○議会改革をすることで議会はどう変わったのか、よくなったことは何か。 ⇒議会基本条例を策定し、やらなければいけないことを明確化した。 委員会を再編したことで議論がしやすくなった。</p> <p>○タブレットの導入ではどんな良い面があるか。 ⇒印刷物が減り、コストダウンができる。</p> <p>○広報みずなみと社協だよりの開き方が逆で閉じづらいが統一できるか。 ⇒確認する。 ⇒広報紙の閉じ穴については、右閉じの方が掲載記事が「縦書き」にも「横書き」にも対応できるため、広報みずなみは現行どおりで行っていきたい。 社協だよりは数年前に閉じ穴の位置を変更しているの、統一は難しいのでは。</p> <p>○広報を配るのが大変、紙でなくデータ配信できないか。 ⇒今後運用の仕方を含め検討する。 ⇒広報は、全ての市民に市政情報等をお知らせする重要な情報提供手段である。現状においても、市ホームページからご覧いただくこともできるが、それだけでは誰もがご覧いただけるとは言えないため、紙媒体による広報誌を配布している。 広報を配るのが大変というご指摘については、一度に多くの情報が集中しないよう工夫して発行している。今後も、当面は現状どおり発行していきたいと考えている。</p> <p>○雨降り坂U字溝が詰まって水があふれ冬場は凍結する。 ⇒未整備部分は道路維持課に連絡し対応要望する【場所は雨降り峠の途中】</p> <p>○待避所をつくってほしい。 ⇒ヘアピンから白倉バス停までは2車線歩道付で整備される予定【場所は県道瑞浪大西線】</p> <p>○消防団操法大会の訓練をやりすぎ。災害の多様化に対応できるのか。 ⇒消防操法訓練の取組として、強制的な参加ではなく家庭の事情を考慮する事や、県消防操法大会への出場方法など消防団幹部等関係者と協議し少しでも団員の負担軽減に繋がるよう検討をしてみたいと考えている。 分団の連絡体制の確保、装備等の点検整備及び教育訓練が不可欠であり、これらを実践する優秀な人材の確保が最も重要であることから、各分団幹部を対象とした幹部講習会。実践訓練として、大規模な林野火災等に対応するため、消防団と消防署及び岐阜県防災航空隊と連携し、迅速な初動体制と効果的な活動を展開することを目的とする全団訓練。緊急走行時における消防団員の道路交通法の遵守と、運転技術の向上を目的とする東濃西部消防団安全運転講習会。消防団員として救急救命に対しての知識と技術の取得を目的する救急講習会などを実施して多様化する災害に備えていく。</p>			

○デマンドバスの駐車場を変更できないか。

⇒該当箇所の区長に駐車場の変更について要望書を提出していただき、対応を検討する。

○小学生が通学に1 km以上歩いている。バスに乗れないか。

⇒該当箇所の区長に要望書として提出していただくことを依頼。

現地調査をしたところ、道路幅が狭いため、対応することは難しい。